

## 第4回新庁舎建設基本計画検討委員会（有識者会議） での協議結果について

開催日時：平成30年9月21日（金）18時00分～20時15分

### 1 議事

#### （1）前回会議の協議結果等について

##### 【事務局からの配布資料、説明】

前回会議の議論を振り返るとともに、新庁舎への集約を想定する公用施設の一覧を提示し、公共施設等総合管理計画に掲げる施設総量の最適化を踏まえた新庁舎の目標延床面積などについて説明を行った。



##### 【有識者会議での整理】

委員からの質問や意見などは出されなかった。

#### （2）前回会議までの保留事案について

##### 【事務局からの配布資料、説明】

新庁舎の建設場所、現本庁舎の存廃に関する整理資料を提示し、

- ① 民間等所有地に新庁舎を建設する場合の課題
- ② 建設候補地に掲げた自己用地4箇所の評価を点数化したもの
- ③ 現本庁舎を庁舎施設、庁舎施設以外のものとして利用する場合の課題

などについて説明を行った。

基本理念や基本方針、新庁舎への導入機能については、前回会議と同じ資料を提示した。



##### 【有識者会議での整理】

- ・ 建設候補地（自己用地）の比較表のうち、津波による影響や災害発生時・後におけるアクセス性、各種法令との適合性などの項目について、  
「文化会館駐車場等の評価が低いのではないか」  
などの指摘がある一方で、周辺環境への液状化の影響やため池決壊による浸水被害などを踏まえると、  
「旧衛生センター敷地の防災拠点・安全性はそこまで高い評価にならないのではないか」  
などの指摘があった。  
⇒ 別紙資料を参照のこと
- ・ 民間等所有地7箇所については、建設候補地から除外することとした。

- 「人口の減少傾向を踏まえると、12,000㎡もの新庁舎は必要なく、7,500㎡程度の新庁舎を建設し、将来的には、現庁舎をその他の用途に転用することもできるのではないか」という意見が出された。
- レプリカの作成や一部保存など、「増田建築の顕彰とコスト面の課題等を両立させるような中間的な議論はできないか」という意見に対し、

「基本的に現状を保つのが一番理想的」

「人口減少に伴い、財源確保が困難になることが予想される中、市民への負担についてもトータルで考えていく必要がある」

などの意見が出され、事務局からは

「市内に19施設ある増田建築全体を捉え、どのように残していくかはトータルで考える」

「アーカイブとして、映像等の保存による顕彰も検討する必要がある」

などの説明を行った。
- 現本庁舎の保存・活用について、「本委員会とは別のしかるべき場で議論することが理想ではないか」という意見が出されたのに対し、

「もう少し色々な方の話を聞きたい」

「現本庁舎をただ残すのではなく、儲けを生む仕組みも合わせて議論するためにも、別の場で議論を行ってはどうか」

などの意見が出された一方で、

「庁舎の価値というのは、専門家ではなく、市民にとっての価値をまず第一に考えるべき」

「市民アンケートにおいて大多数の方が建替えを望む中、それを覆すために専門家で議論を行い、それらの結果を踏まえて本委員会で方向性を出すというのはかなり難しいのではないか」

などの意見が出されたが、最終的には、本委員会とは別に専門家による会議を立ち上げるということはずせず、次回、第5回会議において、新庁舎の建設場所と現本庁舎の存廃について、一定の方向性を決めることとした。